

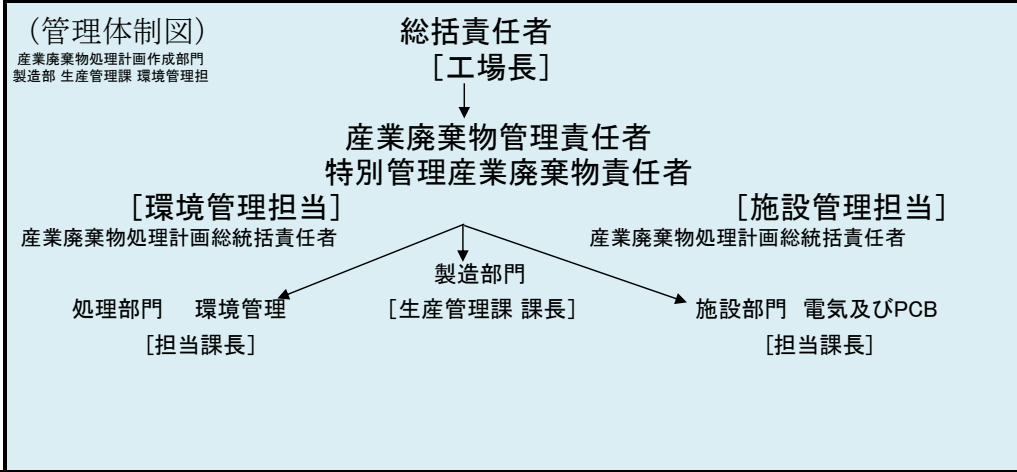
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2022年 06月 15日	
静岡県知事 川勝 平太 殿	
提出者	
住所	静岡県富士宮市弓沢町 1番地
氏名	株式会社ニッピ富士工場
	執行役員工場長 佐野 武彦
電話番号	0544-22-2111
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ニッピ富士工場
事業場の所在地	静岡県富士宮市弓沢町 1番地
計画期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	ゼラチン製造業[1694・1651]
② 事業の規模	701,382万円/年
③ 従業員数	79人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別 添

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】						
		産業廃棄物の種類 排出量 (t)	汚泥（汚泥）	汚泥（活性炭）	動植物性残さ	廃プラスチック類	紙くず	ガラス・陶磁器くず 蛍光管・乾電池
①現状	産業廃棄物の種類 排出量 (t)		11,022	149.60	38.00	34.17	8.68	1.050
	産業廃棄物の種類 排出量 (t)		汚泥（試薬）	汚泥 基準値を超える有害物質を含む・ 脱水銀（試薬）	木くず			
	産業廃棄物の種類 排出量 (t)	0.000	0.000	6.750				
	産業廃棄物の種類 排出量 (t)							
		(これまでに実施した取組) 汚泥低水分化 ・ リサイクル資源化						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類 排出量 (t)	汚泥（汚泥）	汚泥（活性炭）	動植物性残さ	廃プラスチック類	紙くず	ガラス・陶磁器くず 蛍光管・乾電池
②計画	産業廃棄物の種類 排出量 (t)		16,450	250	80	50	50	5
	産業廃棄物の種類 排出量 (t)		汚泥（試薬）	汚泥 基準値を超える有害物質を含む・ 脱水銀（試薬）	木くず			
	産業廃棄物の種類 排出量 (t)	0	0	20				
	産業廃棄物の種類 排出量 (t)							
		(今後実施する予定の取組) 汚泥低水分化 ・ リサイクル資源化						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず一般ゴミ ・ クラフトビニール付 ・ ダンボール ・ 埋め立て ・ ラップ ・ バンド ・ 金属くず ・ 軟質廃プラスチック ・ 蛍 光管 ・ ガラス ・ 乾電池 ・ コピー紙
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上（現状）取り組みとビニール素材に分類 ・ 一般産業廃棄 物の減量化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別 添	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別 添	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9,741 t	
	(これまでに実施した取組)                      汚泥低水分化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（汚泥）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14,257 t	
	(今後実施する予定の取組)                      資源活用 ・ 汚泥低水分化		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項											
①現状	【前年度（                      年度）実績】										
	産業廃棄物の種類										
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量										
	(これまでに実施した取組)										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類										
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量										
	(今後実施する予定の取組)										
産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状	【前年度（ 令和3年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥（汚泥）	汚泥（活性炭）	動植物性残さ	廃プラスチック類	紙くず	ガラス陶磁器くず・廃蛍光灯管・廃乾電池	汚泥（試薬）	汚泥を含有する基礎物質を含む・廃水銀（試薬）	木くず	
	全処理委託量	1,281t	149.60t	38.00t	34.17t	8.68t	1.05t	0t	0t	6.75t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	6.18t	22.11t	0t	1.05t	0t	0t	6.75t	
	再生利用業者への処理委託量	1,281t	0t	38.00t	34.17t	8.68t	0t	0t	0t	6.75t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組)                      リサイクル化                      資源活用										

		【目標】									
		産業廃棄物の種類	汚泥(汚泥)	汚泥(活性炭)	動植物性残さ	廃プラスチック類	紙くず	ガラス陶磁器くず・廃蛍光管	汚泥(試験)	汚泥を越える有害物質を含む(試験)	基準を越える汚泥(試験)
②計画	全処理委託量	2,193t	250t	80t	50t	50t	5t	0t	0t	20t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	10t	30t	0t	5t	0t	0t	20t	
	再生利用業者への処理委託量	2,193t	0t	80t	50t	50t	5t	0t	0t	20t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
		(今後実施する予定の取組) リサイクル ・ 再資源化 ・ 製造計画増による計画 ・ 設備更新 ・ イオン交換入替え計画 ・ 工場整備 ・ 有価物計画									
※事務処理欄											

添付資料 図1. 製造工程概要と産業廃棄物(一般廃棄物)の発生フローシート

